



▲「女鳥羽の泉」前で チーム「目指せ優勝」のみなさん

「歩いて健康東部」を掲げ、10月5日(土)、今年も「運試しウォークラリー」が町会連合会、民生児童委員協議会ほか多くの方の協力により、開催されました。

参加者は、9カ月の赤ちゃんの親子、地域の交流を学習している清水中学校の生徒さんたち、沢山の家族、住民の方々と去年を上回る総勢78名です。

9つのチームに分かれ、コマ図を見ながらコースを歩



▲「東部交番」でミッションに挑戦 チーム「雲」のみなさん

き、チェックポイントを巡りゴールを目指します。クイズの正解数、かかった時間と目標タイムとの差で順位が決まります。

チェックポイントでは史跡のクイズや、顔出しパネルでの記念撮影、甘酒の振舞い、輪投げやアヒルすくいなど、楽しいミッションがありました。全てのコマ図を歩き終わり、無事完歩。ゴールでは恒例の引き水クイズに答えました。道中の「女鳥羽の泉」、「槻



▲見事優勝した チーム「清水」のみなさん

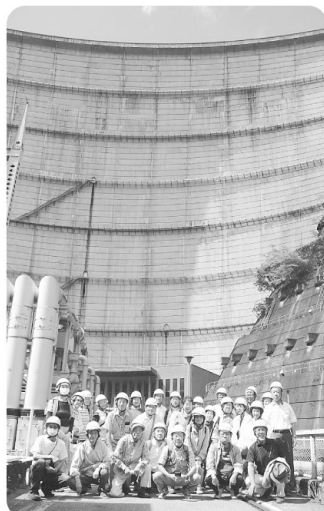
井泉神社」、「鯛萬の井戸」の3つの湧き水の味を思い出しながら回答し、結果発表を待ちます。

優勝は「チーム清水」のみなさん。「子どもに合わせて5分休憩したり、ゆっくり歩いたりしたことが良かったのかな」「地域の史跡をたくさん学べました」と楽しく話されていました。また、3つの引き水全て正解した「引き水賞」は8人もいました。

「カレーの会」のみなさんが作ってくれたメンチカツカレーを食べながら、反省会。スタートした時と比べ、どのチームも終始笑顔にあふれ、会場は大盛り上がりでした。私は、小学1年生の孫と参加しました。チームのメンバーは小学5年生の男の子と

各種講座 催し 実施しています!

東部公民館、福祉ひろばでは、「みなさんのやりたい」を応援する各種催しを開催しています。その一部をご紹介します。



9/12 電気が生まれる現場を見よう(ダム・変電所見学)



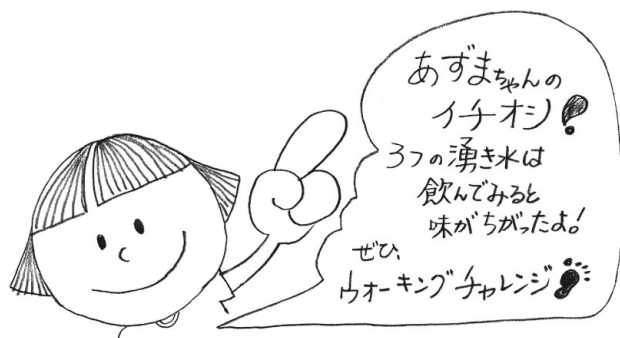
10/23 〜リビングウィル〜
人生100年時代をどう生きて逝きますか?



10/31 ひろばウォーク
レトロ懐かし看板学会

お父さんの4人です。チーム名は「はやぶさファイターズ」。その名のとおり、足取りも軽く、クイズやミッションも程よくこなし、実際にかった時間は全チーム中で最速でした。でも、目標タイムとの差は一番大きくなり、悲しくも最下位でした。

結果はどうであれ、秋の訪れを感じさせる風と草花を見ながら、話しながら、孫とメンバーとで歩いたことは、とても楽しく、うれしい思い出になりました。(小澤映子さん・桜町)



松本城とわたし

題字 三代澤 東隣

今回は、矢口裕義さん(葭町・92歳)から寄せられた松本城の想い出をご紹介します。

松本城と言うと、先ずお堀でスケートをしたの思い出です。

開智小学校の5・6年生は、体操の時間に受け持ちの先生に連れられて毎日のように通った。当時スケート靴は下駄が多くて靴スケートは数える位しかなかった。滑れない者は、下駄2つ

の下に板を入れ、固く縛ってソリのようにして滑れる者に引張ってもらって遊んだ。堀の南側だけだったが、氷は厚く、一般の人もいた。派手な服装の人混ざって賑やかだった。これを高い所から見れば、どんなか。

松本城は昭和11年に国宝(旧国宝)になったが、白壁の外壁と黒漆の下見板も、長い間に薄汚れ、見る影もなかった。昭和25、30年に大解体修理で再び美しく生き返った。今見る見事な景観のお城は修理後のものだ。他県のコングリートの物と違って、築城以来400年以上の歳月を保った木造の遺構である。

5年間の工事は長く、いつ見ても木の足場とカバールをかけられたままだった。工事の中を覗くことがあった。何もなく、お城は消えてしまっていた。

戦中・戦後にかけて、庭園は1本の木も草もなく、一面に畑になっていた。市の職員と地元民の協力で野菜をいろいろ作っていたのだが、改築が始まったころにはなくなっていた。

復元工事が完成し落成式を終えると、天守を一般に開放した。市でも記念の催しを色々計画していた。その1つとして、畑として使っていたため荒れたままになっていた公園へサーカスが来た。大掛かりの小屋を建てて1カ月興行が続いた。

当時二の丸町に住んでいたのだが、地元二の丸町の民家は、サーカスの団員たちの宿泊を頼まれた。男性ばかり10数人である。飯と一緒に食べることもなく、朝になると小屋に帰っていく。

私の家は団長さんが泊まった。ニコニコしたやさしい人で何回か入場券をいただいたことがある。ある日、「今日は象に乗せてあげ

るから来なさい、裏口から入るように」と言われて驚いたが行ってみた。大きな象だが鞍もなく毛布のようなものを掛けただけだった。象は、座って乗せてくれた。背は広くてゆったりしていたが、怖いやら楽しいやらの乗り心地だった。場内を1周して元の所に来ると座って降ろしてくれた。鼻にさわっても何もせずおとなしい動物だと思った。



▲昭和30年10月1日 昭和の大修理落成祭 (松本城アーカイブより)

「松本城とわたし」投稿募集中

松本城に関する「思い出」や「写真」など、皆様からの投稿お待ちしております。投稿記事は800字程度、宛先は東部公民館館報編集委員会事務局(☎36-8565 東部公民館内)まで。詳細はお電話にてお問合せください。

中学生パワーで東部を元気に

「清水中」生徒との交流



地域に出向いて、地域のみならずと関わりたい！そんな強い想いを持った清水中学校の生徒たちが東部公民館を訪れ、様々な活動に取り組んでいますので、いくつか紹介します。

運試しウォークラリー

3面でもご紹介しましたが、10月5日に実施の「運試しウォークラリー」には、7名の生徒が参加しました。自ら志願して各チームに分散し、選手としてウォークラリーに挑戦。地区の参加者と一緒にコースを回りました。

奉仕活動 公民館清掃

全校奉仕活動の一環として10月24日(木)、14名の生徒が東部公民館に来館し、館内外の清掃に取り組んでもらいました。玄関周りのタイル磨きや外周の草取り、福祉ひろばの窓ふきなど、普段の清掃の手が回らない部分を中心に実施され、見違えるほどきれいな状態になりました。

清水中学生との交流会

10月31日(木)には、「清水中学生との交流会」が開催されました。企画から準備、進行まで全て中学生が実施します。

当日は、9名の生徒が来館し、決められたテーマについて語りお互いの親睦を深める「アドジャン♥」ゲームや、ジェスチャークイズ、合唱など、盛りだくさんの企画で、来場した22人の地域の住民との絆を深めました。



▲「アドジャン♥」でお互いのことをもっと知ろう！



▲普段手が回らない部分も念入りに清掃してもらいました